



# 案ずるよい産むがやすし

中国中央病院

産婦人科病棟

2021.7月号

VOL.278

梅雨明けも間近で、木々の葉が生い茂る季節となりました。暑い夏ももうすぐ！体調を整えて過ごしましょう。

さて、皆様には新型コロナウイルス感染防止対策にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

今回は、産婦人科病棟での感染予防のための対応についてご紹介します。



## ○ 分娩・帝王切開への付き添いについて

現在、当院では入院中の面会を禁止させていただいています。分娩室でのご家族の方の立ち合いはできません。ただし、分娩が進行している場合は、ご家族1名のみ自室での付き添いができます。（交代はできません。）帝王切開の場合も分娩として扱うため、手術前日・当日の付き添いは1名のみとさせていただいています。付き添われた方のみ、分娩終了後、窓越しで新生児と5分程度面会していただけます。産婦さんとの面会はできません。詳しくは、産婦人科外来に掲示してあるお知らせをご覧ください。

## ○ 入院中の指導について

沐浴指導：個別にDVD視聴後、ご希望の方は沐浴を行います。

調乳指導：パンフレット・おみやげをお渡ししています。

不安な方は、スタッフと一緒に調乳することもできます。

退院指導：授乳室、または産科デイルームで、集団指導でお話ししています。

マスク着用の上、一定の距離を保ち、換気に注意しながら行っています。



## ○ 授乳について

授乳室は、密を避けるために少人数の利用とさせていただきます。母子同室をしながら、お部屋で授乳をすることをおすすめしています。お部屋で「おっぱいを上手くくわえさせることができない」「授乳後も泣き止まない」「ミルクを飲ませたい」など、お困りの際は、担当スタッフがお手伝いいたしますので、なんでもご相談ください。

**その他、ご心配なことやご不明なことがあれば、遠慮なくスタッフにお尋ねくださいね。  
スタッフ一同、元気な赤ちゃんとお母さんにお会いできることを楽しみにしています★**

## ★ 自分でできる感染予防対策 ★

### ● 手洗い・手指の消毒・マスク着用

外出の後、トイレの後、食事の前、屋外のものに触れた後、咳・くしゃみ・鼻をかんだ後、おむつ替えの後などは流水と石鹸でしっかり手洗いをし、アルコール消毒をしましょう。手を洗う頻度が増えると、手荒れしやすくなるため、ハンドケアも忘れずに！ハンドクリームなどでたっぷりうるおい補給を心がけましょう。マスクの効果は、ウイルス・菌を含んだ飛沫やほこりをフィルターでキャッチすることで発揮されます。しかし、マスクと顔の間に隙間が空いていると、マスクのフィルターを通さずに吸い込まれる空気が多くなり、マスクの効果は低くなります。自分に合ったサイズを選び、鼻・口・顎を確実に覆いましょう。

### ● 体温を測る

出産が近づいてきたら、自分の体調を把握するためにも、毎日体温を測ることをお勧めします。37.5度以上の発熱が続く場合や、風邪症状がある場合、息苦しさや体のだるさを感じる場合など、ご心配なことがあれば、すぐに受診せず、まずは電話でご相談ください。



## 母親学級のお知らせ

※ 8月より、前期母親学級を再開します。

日時：前期 7月7日 8月4日（第1水曜日）  
後期 7月14・28日  
8月11・25日（第2・4水曜日）  
13:30～16:00（病棟案内はありません）

場所：講堂AB

定員5名（ご家族の付き添いはご遠慮ください）

産婦人科外来の予約ノートへご記入ください。キャンセルの場合はご連絡ください。また、母親学級の内容のポイントを当院ホームページに掲載していますのでご活用ください。あわせて、外来相談室をご利用ください。

担当：尾崎

